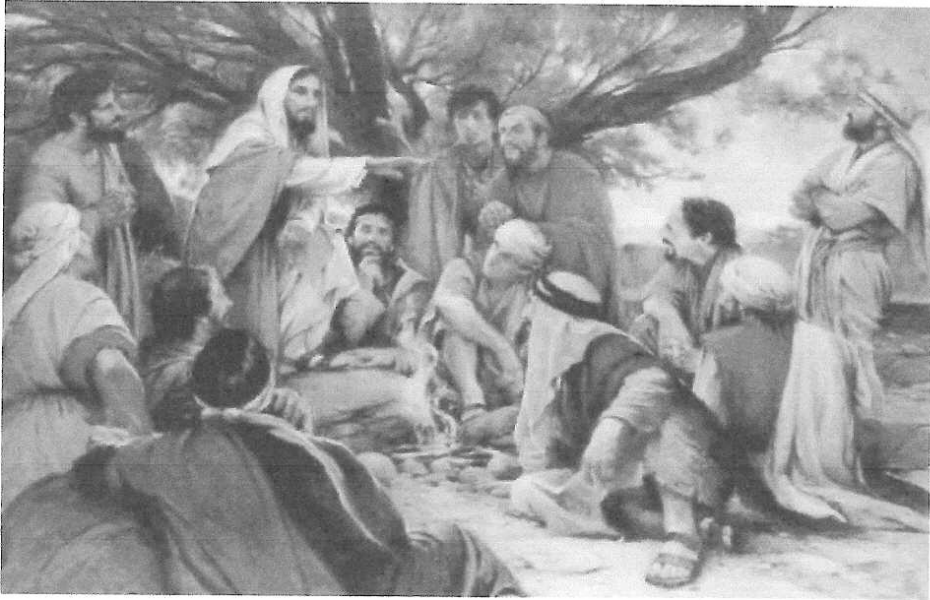


<遣わされた弟子達>

マルコ6：1～13



1、固定観念が福音を覆う

故郷ナザレに行き、会堂で教えたイエスさま。迎えた人々の反応は？

驚いた！ 知恵に溢れ、霊的な権威があった

どこでこんな知恵を得たのだろう

どうしてこんな奇跡のわざができるのだろう

この人は、こんなことが出来る生まれでも、育ちでもないのに。

「この人は大工ではありませんか。マリヤの子で、ヤコブ、ヨセ、ユダ、シモンの兄弟ではありませんか。その妹たちも、私たちとここに住んでいるではありませんか。」

こうして彼らはイエスにつまずいた。【3節】

「マリヤの子」

ヨセフは既に亡くなっていたのか。イエスの出生に対する疑問からか。

それで、そこでは何一つ力あるわざを行うことができず、少数の病人に手を置いていやされただけであった。イエスは彼らの不信仰に驚かれた。【5、6節】

2、イエスさまの伝道の原則

イエスさまは、福音を宣べ伝えるために12弟子達を遣わされた。弟子訓練。

- ①二人一組にして
- ②汚れた霊を追いだす権威を与えた
- ③パンもお金も着替えも持たない
- ④迎えてくれる家があればそこにとどまる
- ⑤人々が受け入れないなら、足の裏のちりを払ってそこを去る

◆必要な糧は神が解決してくださる。それを信じて、この世に飛び込みなさい。
「わたし」があなたがたを遣わすのだ。

「足の裏のちりを払い落す」

敬虔なユダヤ人は、異邦人とは交わらないことを示すために、異邦人の町や土地を通った後、必ず自分たちの履物から埃を払い落した。

3、救いの中心的メッセージ

人が救いを得るために、聖書が教える中心的メッセージは

私^があなた^がたに最もたいせつな^{こと}として伝えたのは、私も受けた^{こと}であって、次の^{こと}です。
キリストは、聖書の示すとおり、私たちの罪のために死なれた^{こと}、また、葬られた^{こと}、また、
聖書の示すとおり、三日目によみがえられた^{こと}。 Iコリント15：3、4

聞く相手が受け入れやすくなるように、世の流行や耳触りの良い内容で大切なメッセージをゆがめてはならない。